北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	SUV max を指標とした肺野 pure GGN 病変の悪性度予測 (B21-274)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部呼吸器外科学 教授 佐藤之俊
他の研究機関および 各施設の研究責任者	無し
本研究の概要・背景・目的	胸部 CT で認めた均一なすりガラス陰影 (Pure GGN) 病変の悪性度の予測に対して、FDG-PET 検査で用いる FDG の最も集積が高い部位の値 (SUV max)の有用性を明らかにすること
調査データ 該当期間	2013 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの診療情報を調査対象とする
対象となる患者さま	2013 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの期間に当院で切除した原発性肺癌例のうち術前 CT で pure GGN 病変を認めた症例で、かつ術前に FDG-PET を撮影した原発性肺癌の患者様
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 診療録あるいは電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、画像、病理所見を利用します。具体的には、原発性肺癌手術時の年齢、年齢、性別、既往歴、喫煙指数、血液所見、術前 CT 最大径、CT での所見(胸膜嵌入の有無)、最大 CT 値、SUV-max、術式、臨床経過、病理学的評価、転帰を収集する。血液検査所見は腫瘍マーカー(CEA)を確認します。病理学的評価とは病理学的所見(組織型、病理病期、腫瘍径、脈管浸潤・リンパ管浸潤・胸膜浸潤・EGFR 遺伝子変異の有無)を確認する。転帰とは予後、再発の有無、再発形式を確認します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はしません
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場

合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

利用する情報については他の研究での利用の可能性があるため、研究終了後も保管を継続する。他の研究での可能性がないと判断された場合には、その時点でデータの廃棄を行います。

所属・職位:北里大学医学部呼吸器外科学 教授

担当者:佐藤 之俊(さとう ゆきとし)

電話:042-778-8828

備考